

ウオダス 漁海況速報 No. 1959

発行日 平成29年8月14日
 http://www.aomori-itc.or.jp/index.php?id=2184
 発行 (地独) 青森県産業技術センター水産総合研究所
 TEL:017-755-2155 FAX:017-755-2156
 住所 〒039-3381 青森県東津軽郡平内町大字茂浦字月泊10



8月のウオダス発行予定

日	月	火	水	木	金	土	日
		①	2	3	4	5	6
6	7	8	9	10	11	12	13
13	14	15	16	17	18	19	20
20	21	22	23	24	25	26	27
27	28	29	30	31			
	○	漁海況		□	漁況		

青鵬丸によるビームトロール調査結果 (カレイ類) について

マガレイ資源量が増加傾向
 ヤナギムシガレイ資源量が減少傾向

小泊 (8月6~10日)

スルメイカ	釣り	16隻	1,515.0kg
クロマグロ	延縄	6隻	328.5kg
ウスマバル	釣り	7隻	77.8kg
(730.8kg)	刺網	12隻	653.0kg

下前 (7月21日~8月10日)
 取りまとめ中

鯨ヶ沢 (8月1~10日)
 取りまとめ中

大戸瀬 (新深浦) (8月6~10日)
 取りまとめ中

深浦 (8月6~10日)
 取りまとめ中

三厩 (8月6~10日)

スルメイカ	釣り	4隻	555.0kg
マダイ	釣り	3隻	12.1kg
ウスマバル	釣り	1隻	10.0kg
アブラツノザメ	延縄	1隻	200.0kg

平館 (外ヶ浜) (7月21~25日)

マダイ	定置網	3隻	137.6kg
(296.3kg)	底建網	7隻	157.1kg
	刺網	1隻	1.6kg
ブリ	定置網	1隻	13.9kg
(188.8kg)	底建網	5隻	174.9kg
ウスマバル	底建網	3隻	4.4kg
サバ類	定置網	2隻	11.2kg
(94.6kg)	底建網	4隻	83.4kg

(外ヶ浜) (7月26~31日)

ヤリイカ	定置網	1隻	19.2kg
(34.2kg)	底建網	3隻	15.0kg
マダイ	定置網	1隻	33.9kg
(330.2kg)	底建網	9隻	296.3kg
ブリ	定置網	2隻	38.4kg
(144.6kg)	底建網	5隻	106.2kg
ウスマバル	定置網	1隻	10.0kg
(11.4kg)	底建網	1隻	1.4kg
マイワシ	定置網	1隻	1.1kg
サバ類	定置網	2隻	130.1kg
(148.9kg)	底建網	3隻	18.8kg

(8月1~10日)
 取りまとめ中

佐井 (7月16~20日)

マダイ	釣り	45隻	338.8kg
(797.0kg)	延縄	9隻	74.6kg
	底建網	11隻	382.9kg
	籠	1隻	0.7kg
ブリ	釣り	1隻	0.1kg
(558.3kg)	底建網	8隻	558.2kg
ウスマバル	底建網	3隻	9.7kg
サバ類	底建網	5隻	237.0kg

(7月21~25日)

マダイ	釣り	48隻	397.6kg
(1,421.6kg)	延縄	6隻	75.2kg
	底建網	20隻	948.8kg
ブリ	釣り	2隻	9.2kg
(910.4kg)	定置網	1隻	8.2kg
	底建網	9隻	893.0kg
ウスマバル	底建網	5隻	5.8kg
サバ類	底建網	11隻	1,986.8kg

大畑 (8月6~10日)

スルメイカ	釣り	85隻	7,095.0kg
	釣り	2隻	14.6kg
クロマグロ	延縄	1隻	94.5kg

佐井 (7月26~31日)

マダイ	釣り	63隻	500.5kg
(1,272.7kg)	延縄	1隻	1.0kg
	底建網	25隻	770.7kg
	籠	1隻	0.5kg
ブリ	釣り	2隻	7.7kg
(1,328.9kg)	底建網	19隻	1,321.2kg
ウスマバル	底建網	2隻	2.1kg
サバ類	底建網	17隻	2,220.4kg

(8月1~10日)
 取りまとめ中

尻労 (8月6~10日)
 取りまとめ中

白糠 (8月6~10日)

スルメイカ	釣り	71隻	8,685.0kg
	釣り	2隻	60.6kg

三沢 (8月6~10日)
 取りまとめ中

八戸 (8月6~10日)
 取りまとめ中

ウスマバルの標識放流結果と再捕報告のお願い

当水産総合研究所では中間育成を行ったウスマバルに標識をし、下記のとおり放流を行っています。再捕された方は、次の項目について報告をお願いいたします。 ①漁獲年月日 ②漁獲場所 ③全長・体重 ④漁法 ⑤標識記号 ⑥氏名・連絡先・所属 (記念品送付のため) 【担当: 資源増殖部】

放流月日	放流場所	放流尾数	平均全長(mm)	平均体重(g)	標識種類	放流月日	放流場所	放流尾数	平均全長(mm)	平均体重(g)	標識種類
平成22年12月2日	小泊漁港	383尾	113.1	26.2	黄色ダーツタグ(アオスイ2010)	平成26年7月18日	尻労前沖	1,300尾	124.5	32.0	黄色ダーツタグ(アオスイ253-500)
		827尾	77.2	6.6	黄色ダーツタグ(アオスイ2010)	平成27年9月17日	尻労前沖	1,500尾	132.0	40.1	ピンクダーツタグ(アオスイ0901-0950)
平成23年10月20日	尻労前沖	900尾	109.8	24.8	赤色ダーツタグ(アオスイ0001~0900)						黄色ダーツタグ(アオスイ0001~1000)
平成23年11月30日	深浦漁港内	850尾	116.9	24.9	黄色ダーツタグ(アオスイ2011)	平成27年10月22日	下前漁港	4,100尾	64.5	3.8	左腹鰭抜去
平成24年11月9日	深浦漁港	130尾	141.4	55.2	黄色ダーツタグ(アオスイ0001~0115)	平成27年10月22日	小泊漁港	4,100尾	64.5	3.8	左腹鰭抜去
		114尾	123.9	30.4	黄色ダーツタグ(アオスイ0116~0221)	平成28年6月28日	尻労前沖	1,000尾	145.6	52.9	結束バンド(黒色)
平成25年7月4日	尻労前沖	70尾	132.8	40.9	ピンクダーツタグ(アオスイ951-1000)	平成29年6月27日	尻労前沖	1,961尾	129.0	36.7	結束バンド(黒色)
					黄色ダーツタグ(アオスイ226-252)						

沿岸各地の水温 (8月6日～10日)

日本海 23～25℃台 津軽海峡 19℃～22℃台
 陸奥湾 21～22℃台 太平洋 17℃～18℃台

今回は平均前回差が-0.7度となりました。

前年と比べると、日本海が-0.8度、津軽海峡が-1.9度、陸奥湾が-2.5度、太平洋が-3.2度となり、平均前年差は-2.3度となりました。

ほとんどの地点で平年を下回っており、津軽海峡側及び陸奥湾内で「やや低め」、太平洋側で「はなはだ低め」となっています。

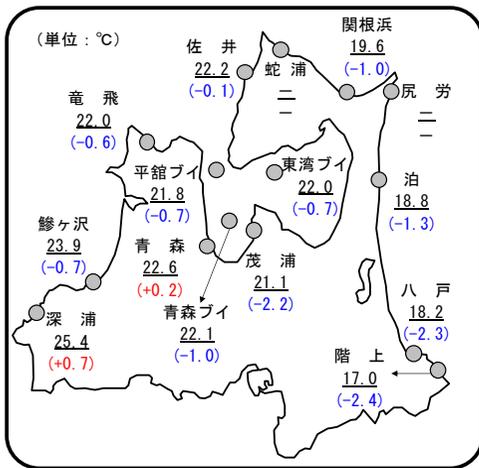


図 定地水温(8月6日～10日)
 平均値(平年差)ブイは1m

表 沿岸各地の水温 (8月6～10日)

(単位:℃)

	水温	前回差	前年差	平年差	
日本海	深浦	25.4	+0.7	+0.3	+0.7
	鱒ヶ沢	23.9	-0.1	-2.0	-0.7
	平均	24.7	+0.3	-0.8	-0.0
津軽海峡	竜飛	22.0	-0.1	-2.2	-0.6
	佐井	22.2	-1.0	-0.9	-0.1
	蛇浦	—	—	—	—
陸奥湾	関根浜	19.6	-0.8	-2.8	-1.0
	平均	21.3	-0.6	-1.9	-0.6
	青森	22.6	+0.3	-1.3	+0.2
	茂浦	21.1	-2.0	-4.1	-2.2
	平館	21.8	-0.9	-2.0	-0.7
太平洋	青森	22.1	-1.1	-3.1	-1.0
	東湾	22.0	-1.0	-2.1	-0.7
	平均	21.9	-0.9	-2.5	-0.9
	尻労	—	—	—	—
	泊	18.8	+0.1	-2.2	-1.3
全体平均	八戸	18.2	-1.2	-3.7	-2.3
	階上	17.0	-1.6	-3.8	-2.4
	平均	18.0	-0.9	-3.2	-2.0
全体平均	21.3	-0.7	-2.3	-0.9	

※竜飛は22日のみの値

太平洋の海況

(8月8日～9日、表面水温分布)

概況：沿岸水温は18～19℃台

○太平洋沿岸域の表面水温

前回と比べて1度ほど降温しています。これは前年同期と比べて2～3度低い水温です。

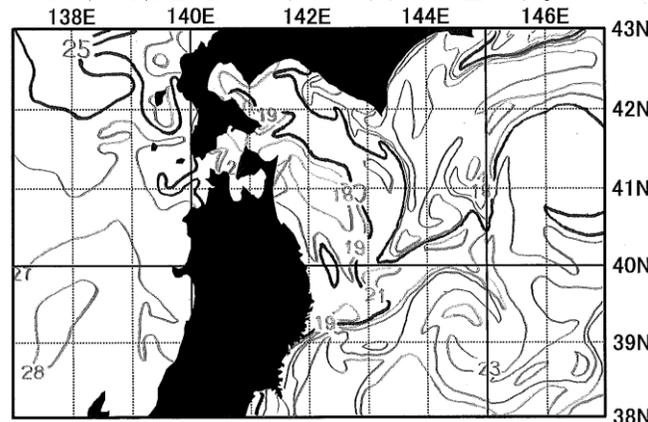
日本海の場合

(8月8日～9日、表面水温分布)

概況：沿岸水温は24～26℃台

○日本海沿岸域の表面水温

前回と比べてわずかに昇温しています。これは前年同期と比べわずかに高い水温です。



資料：(一社) 漁業情報サービスセンター
 北部太平洋海況速報 第37号 8月11日発行

○2017年青鵬丸によるカレイ類新規加入量調査結果について

2017年7月11日につがる市出来島沖の水深100m～120mの4地点において、試験船青鵬丸(65トン)でビームトロール海底30分曳によるカレイ類新規加入量調査を行いましたので、結果をお知らせします。

マガレイは、2009年～2014年産まれが少なかったものの、2015年に多く発生し、2016年産まれも多いため、資源量が増加傾向となっています。多く発生した2015年産まれのマガレイは今年2歳魚として、全長19cm前後、体重80g前後で漁獲主体になると考えられます。

ヤナギムシガレイは、2009年産まれが多く、次いで2013年産まれが多いものの、他の年の発生が少ないため、資源量が減少傾向となっています。今年の漁獲主体は2009年産まれの8歳魚の全長24cm前後、体重110g前後、2013年産まれ4歳魚の全長20cm前後、体重60g前後になると考えられます。

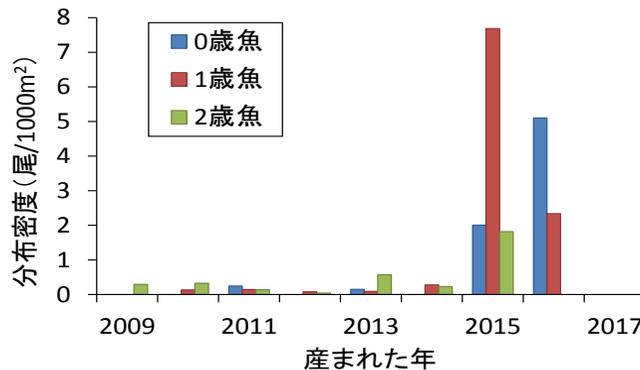


図1 マガレイの分布密度

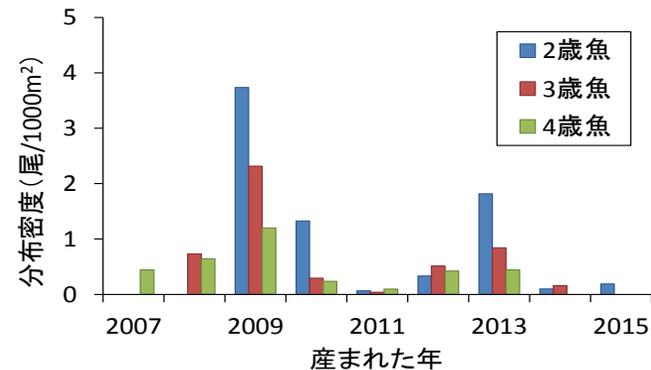


図2 ヤナギムシガレイの分布密度